

# 水産加工食品製造業技能実習評価試験

## 上級試験【マークシート】

☆ ペーパーテスト形式（マークシート）のため鉛筆と消しゴム等筆記用具が必要です

### 注意事項

- ① 試験は合図があったら始める
- ② 終了の合図があったら試験をやめて指示に従う
- ③ 不正行為は禁止する（カンニング、私語、問題や解答の書き写し・持ち出し等）
- ④ 机の上には、鉛筆と消しゴム、受検票以外置かない
- ⑤ 携帯電話等の使用を禁止する（撮影・録音等）

必要器具	数量	備考
筆記用具	各自	HB又はBの鉛筆、消しゴム

### 【受検番号】マークシート受検番号と名前の書き方

受検番号									
3	-	2	3	-	0	1	3	5	7
○		○	○		●	○	○	○	○
○		○	○		○	●	○	○	○
○		○	○		○	○	○	○	○
○		○	○		○	○	○	○	○
○		○	○		○	○	○	○	○
○		○	○		○	○	○	○	○
○		○	○		○	○	○	○	○
○		○	○		○	○	○	○	○
○		○	○		○	○	○	○	○

☆ マークシート解答用紙のおもて面に受検番号と名前を書きます

名前
SAYORI ITO

すいさんかこうしょくひんせいぞうぎょうぎのうじっしゅうひょうかしけん  
水産加工食品製造業技能実習評価試験

じょうきゅうがっかしけん  
上級学科試験

がっかしけん (ペーパーテスト) マークシート  
【学科試験 (ペーパーテスト)】マークシート

しゅつだいほうほう こた かた  
出題方法と答え方

- ☆ マークシート解答用紙のおもて面 (魚マーク面) に答えを書きます
- ☆ 試験時間は70分間で原則として30分経過後途中退席ができます
- ☆ 以下の例題は答え方の解説であり実際の出題数は50問となります

こた かた  
答え方


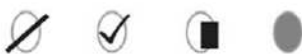
しき もん もんだい  
○×式 …… 30問 (問題 1～10、21～40)

もんだいぶん ないよう ただ かいとうようし  
問題文の内容が正しいものは解答用紙の ⊙ を、  
まちが ぬ  
間違いは ⊗ を塗りつぶしなさい。

たくしき もん もんだい  
4 択式 …… 20問 (問題11～20、41～50)

もんだいぶん よ  
問題文を読んで、①～④ から答えを選び  
ぬ  
塗りつぶしなさい。

ぬ かた れい  
【塗り方の例】

よ 良い	
わる 悪い	

【○×式】<sup>しき</sup> 解答方法<sup>かいとうほうほう</sup>

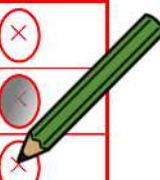
きょうつうもんだい  
**共通問題**

1 DHA（<sup>どこさへきさえんさん</sup>ドコサヘキサエン酸）は、<sup>ひとけんこう</sup>人の健康に  
<sup>よしぼうさん</sup>良い脂肪酸である。

2 EPA（<sup>えいこさぺんたえんさん</sup>エイコサペンタエン酸）は、<sup>ひとけんこう</sup>人の健康に  
<sup>わるしぼうさん</sup>悪い脂肪酸である。

がっかしけん  
**学科試験**  
きょうつうもんだい  
**共通問題**

<sup>かいとうらん</sup> 解答欄	○	×
1	●	⊗
2	○	⊗
3	○	⊗
4	○	⊗
5	○	⊗



たくしき かいとうほうほう  
【4 択式】 解答方法

きょうつうもんだい  
共通問題

11	ぎょかいるい つぎ 魚介類は、次のうちどれか。	<p style="text-align: center;">いか 1 イカ</p> <p style="text-align: center;">うし 2 ウシ</p> <p style="text-align: center;">にわとり 3 ニワトリ</p> <p style="text-align: center;">ぶた 4 ブタ</p>
----	----------------------------	---

12	すいさんかこうひん 水産加工品ではないものは、 つぎ 次のうちどれか。	<p style="text-align: center;">しおさば 1 塩サバ</p> <p style="text-align: center;">くじらベーコン 2 クジラベーコン</p> <p style="text-align: center;">さきいか 3 さきいか</p> <p style="text-align: center;">ぼーくそーせーじ 4 ポークソーセージ</p>
----	--	--

かいとうらん 解答欄	
11	● (2) (3) (4)
12	(1) (2) (3) ●
13	(1) (2) (3) (4)
14	(1) (2) (3) (4)
15	(1) (2) (3) (4)



# 水産加工食品製造業技能実習評価試験

## 上級実技試験

### 【判断等試験（ペーパーテスト）】マークシート

### 出題方法と答え方

☆ **マークシート解答用紙のうら面に答えを書きます**

☆ 試験時間は45分間程度で原則として途中退席はできません

- ・ 動画試験 2問 20分程度（1問10分程度）
- ・ その他の試験 8問 25分

☆ 1～3以降の例題は答え方の解説であり実際の出題数とは異なります  
 実際の出題数は各問題の説明内容のとおりです。

### 注意事項

- ① 試験は合図があったら始める
- ② 終了の合図があったら試験をやめて指示に従う
- ③ 不正行為は禁止する（カンニング、私語、問題や解答の書き写し・持ち出し等）
- ④ 机の上には、鉛筆と消しゴム、受検票以外置かない
- ⑤ 携帯電話等の使用を禁止する（撮影・録音等）

必要器具	数量	備考
筆記用具	各自	HB又はBの鉛筆、消しゴム

# 1. 共通問題

## 問題 I. 作業の安全・衛生管理

動画を流す前に2分間で下記1～10のチェック項目を黙読確認する。

1～10の順に動画を見ながら動画に映る人物がチェック項目通り正しく作業できたら、解答欄の○を、間違っただけ作業をしていたら、×を塗りつぶす。

ただし、間違っている作業は3つあります。

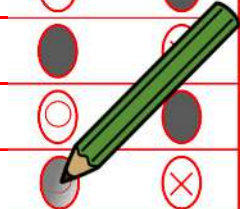
### 【例題】

動画を見て、作業が正しい項目は解答欄の○を、間違いは×を塗りつぶしなさい。

ただし、間違い(×)は3つです。

チェック項目	
1	体調チェック表(健康管理表)を記入する。
2	作業衣を着て汚れ等をチェックする。
3	顔のまわりをチェックする。
4	粘着ローラーで作業衣のゴミ等を取り除く。
5	流水で手の汚れを洗い流す。
6	洗剤と爪ブラシを使って手を洗い、流水で洗い流す。
7	逆性石けん液に30秒手を浸し、その間に爪ブラシをかけた後、流水で洗い流す。
8	ペーパータオルで手を拭く。
9	手袋をつけてアルコールで消毒する。
10	長靴を殺菌する。

問題 I	○	×
1	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
2	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
4	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
5	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
6	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
7	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
9	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>



# ★各チェック項目の詳細（動画の内容）

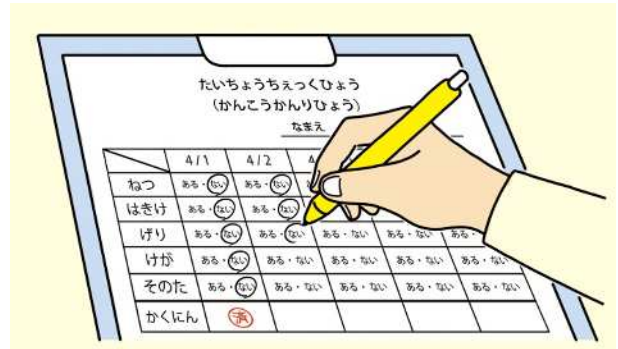
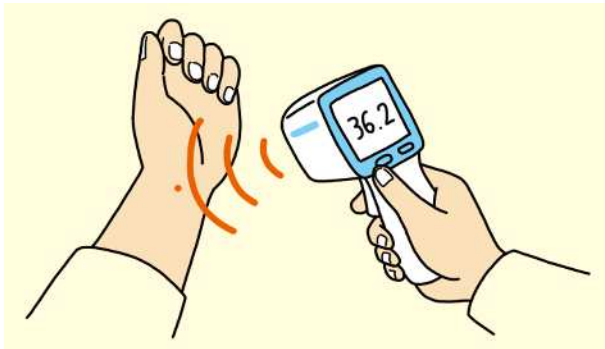
## 1 体調チェック表（健康管理表）を記入する。

・体温を測って熱がないか確認します。

・その他にも体調に問題がなければ体調チェック表の「ない」に○をする。

（発熱やだるさがない、下痢や嘔吐がない、手に傷や肌荒れがない、その他体調不良がない）

\*上記の症状がある場合は「ある」に○をして、必ず上司に報告すること



### ◆嘘を書かないこと

（発熱・ケガ・体調不良があるのに体調チェック表の「ない」に○をして工場に入らないこと）

## 2 作業衣を着て汚れ等をチェックする。

・鏡の前に立って作業衣を正しく着ているか、汚れがないかを確認します。



- ◆ 作業衣に乱れや汚れがないこと  
 (内部の衣類が出ていないこと、作業衣は清潔であること)

3 顔のまわりをチェックする。

- ・ 鏡をみながら顔の周りを確認します。



- ◆ 手には指輪や腕時計等は付けないこと (爪にマニキュアを付けないこと)
- ◆ 髪の毛は帽子からはみ出していないこと
- ◆ 鼻孔がマスクから出していないこと

4 粘着ローラーで作業衣のゴミ等を取り除く。

- ・ 鏡を見ながら粘着ローラーを全身にかけます。  
 (頭から足まで上から下へローラーをかけます)





◆ わき うちまた せなか ろーらー をかけること

◆ つか おわった ろーらー はゴミのついた部分を捨て元の位置に戻すこと

5 <sup>りゅうすい て よご あら なが</sup>流水で手の汚れを洗い流す。

・ <sup>さぎょうい すそ ひじ あ</sup>作業衣の裾を肘まで上げ、<sup>りゅうすい て よご あら なが</sup>流水で手の汚れを洗い流します。



◆ <sup>てくび</sup>手首までではなく、<sup>ひじ した</sup>肘の下まで<sup>あら なが</sup>洗い流すこと

6 <sup>せんざい つめぶらし つか て あら りゅうすい あら なが</sup>洗剤と爪ブラシを使って手を洗い、流水で洗い流す。

- ・ <sup>せんじょうえき つか て あら</sup>洗浄液を使って手を洗います。
- ・ <sup>つめぶらし つか つめ ゆび あいだ あら</sup>爪ブラシを使って爪と指の間を洗います。
- ・ <sup>りゅうすい あわ</sup>流水で泡をよく<sup>あら なが</sup>洗い流します。



- ◆ <sup>てくび</sup>手首までではなく、<sup>ひじ した</sup>肘の下まで<sup>あら</sup>洗うこと
- ◆ <sup>つめぶらし</sup>爪ブラシは<sup>つめさき</sup>爪先だけに<sup>つか</sup>使うこと
- ◆ <sup>あわ</sup>泡は<sup>すべ</sup>全て<sup>あら</sup>洗い<sup>なが</sup>流すこと

7 <sup>ぎゃくせいせつ</sup>逆性石けん液に<sup>えき</sup>30秒<sup>びょうて</sup>手を<sup>ひた</sup>浸し、その<sup>あいだ</sup>間に<sup>つめぶらし</sup>爪ブラシを<sup>あと</sup>かけた<sup>りゅうすい</sup>後、流水

<sup>あら</sup>で<sup>なが</sup>洗い流す。

- ・ <sup>ぎゃくせいせつ</sup>逆性石けん液に<sup>えき</sup>手を<sup>ひた</sup>浸します。（<sup>たいまー</sup>タイマーで<sup>びょうはか</sup>30秒計ります）
- ・ <sup>つめぶらし</sup>爪ブラシを<sup>つめさき</sup>爪先にかけます。
- ・ <sup>びょう</sup>30秒<sup>りゅうすい</sup>たったら、流水で<sup>ぎゃくせいせつ</sup>逆性石けん液を<sup>えき</sup>洗い<sup>あら</sup>ます。



- ◆ <sup>びょういじょうぎゃくせいせつ</sup>30秒以上<sup>えき</sup>逆性石けん液に<sup>ひた</sup>浸すこと（<sup>ひた</sup>浸す<sup>じかん</sup>時間が<sup>みじか</sup>短すぎないこと）
- ※ <sup>こうじょう</sup>工場では<sup>しょうどくえき</sup>消毒液の<sup>しゅるい</sup>種類や<sup>のうど</sup>濃度により<sup>ひた</sup>浸す<sup>じかん</sup>時間が<sup>か</sup>変わります。
- ◆ <sup>つめぶらし</sup>爪ブラシを<sup>わす</sup>忘れずに<sup>つか</sup>使うこと

◆ 逆性石けん液を流水で洗い忘れないこと

8 ペーパータオルで手を拭く。

- ・ ペーパータオルを使って手の水気を拭き取ります。
- ・ その後裾を下ろします。



◆ 作業衣等で拭かないこと

9 手袋をつけてアルコールで消毒する。

- ・ 手袋をつけます。
- ・ アルコールスプレーをして、よく揉みこみます。



◆ 手袋が破れてしまったら新しいものと交換すること

10 <sup>ながぐつ さっきん</sup> 長靴を殺菌する。

- <sup>ながぐつようさっきんそう なか</sup> 長靴用殺菌槽の中で、<sup>ながぐつ さっきん</sup> 長靴を殺菌します。



- ◆ <sup>ながぐつようさっきんそう なか</sup> 長靴用殺菌槽の中で <sup>りょうあし さっきん</sup> 両足を殺菌すること

もんだい きぐ えいせいかんり  
**問題Ⅱ. 器具の衛生管理**

動画 <sup>なが</sup> を流す前に2分間で下記 1～10 のチェック項目 <sup>ちえっくこうもく</sup> を黙読確認 <sup>もくどくかくにん</sup> する。

1～10 の順 <sup>じゆん</sup> に動画 <sup>動画</sup> を見ながら動画 <sup>動画</sup> に映る人物 <sup>うつじんぶつ</sup> がチェック項目 <sup>ちえっくこうもく</sup> 通り正しく <sup>ただ</sup> 作業 <sup>さぎょう</sup> できていたら、解答欄 <sup>かいどうらん</sup> の ○ を、間違 <sup>まちが</sup> った作業 <sup>さぎょう</sup> をしていたら、× を塗りつぶす。

ただし、間違 <sup>まちが</sup> っている作業 <sup>さぎょう</sup> は3つあります。

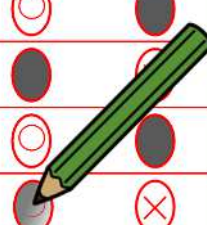
れいだい  
**【例題】**

動画 <sup>動画</sup> を見て、作業 <sup>さぎょう</sup> が正しい項目 <sup>こうもく</sup> は解答欄 <sup>かいどうらん</sup> の○を、間違 <sup>まちが</sup> いは×を塗りつぶしなさい。

ただし、間違 <sup>まちが</sup> い (×) は3つです。

ちえっくこうもく チェック項目	
1	調理台 <sup>ちようりだい</sup> をきれい <sup>ふ</sup> に拭く。
2	まな板 <sup>いた</sup> をスポンジ <sup>すぼんじ</sup> で水洗 <sup>みずあら</sup> いする。
3	スポンジ <sup>すぼんじ</sup> に洗剤 <sup>せんざい</sup> を付けて泡立 <sup>つあわだ</sup> て、まな板 <sup>いた</sup> を洗 <sup>あら</sup> う。
4	流水 <sup>りゅうすい</sup> で洗剤 <sup>せんざい</sup> の泡 <sup>あわ</sup> を洗 <sup>あら</sup> い流 <sup>なが</sup> す。
5	包丁 <sup>ほうちよう</sup> をスポンジ <sup>すぼんじ</sup> で水洗 <sup>みずあら</sup> いする。
6	スポンジ <sup>すぼんじ</sup> に洗剤 <sup>せんざい</sup> を付けて泡立 <sup>つあわだ</sup> て、包丁 <sup>ほうちよう</sup> を洗 <sup>あら</sup> う。
7	流水 <sup>りゅうすい</sup> で洗剤 <sup>せんざい</sup> の泡 <sup>あわ</sup> を洗 <sup>あら</sup> い流 <sup>なが</sup> す。
8	洗った器具 <sup>あら</sup> を殺菌液 <sup>きぐ きつじんえき</sup> に一定時間 <sup>いっていじかん</sup> (約1分) 浸 <sup>やくぶん</sup> びたす。
9	流水 <sup>りゅうすい</sup> で殺菌液 <sup>きつじんえき</sup> を洗 <sup>あら</sup> い流 <sup>なが</sup> し、水気 <sup>みずけ</sup> を拭 <sup>ふ</sup> き取 <sup>と</sup> る。
10	流 <sup>なが</sup> し (シンク) の泡 <sup>しんく</sup> を洗 <sup>あわ</sup> い流 <sup>あら</sup> し、周り <sup>なが</sup> の水気 <sup>まわ</sup> を拭 <sup>みずけ</sup> き取 <sup>と</sup> る。

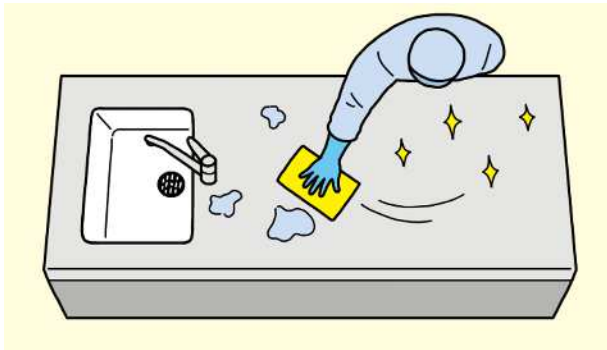
もんだい 問題Ⅱ	○	×
1	●	⊗
2	⊙	●
3	●	⊗
4	●	⊗
5	●	⊗
6	●	⊗
7	⊙	●
8	●	⊗
9	⊙	●
10	●	⊗



かくち え っ く こうもく しょうさい どうが ないよう  
★各チェック項目の詳細（動画の内容）

1 調理台をきれいに拭く。

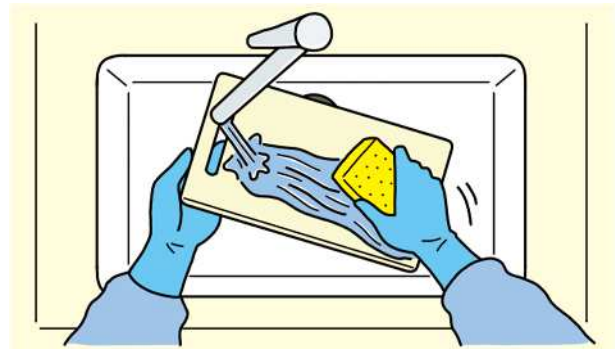
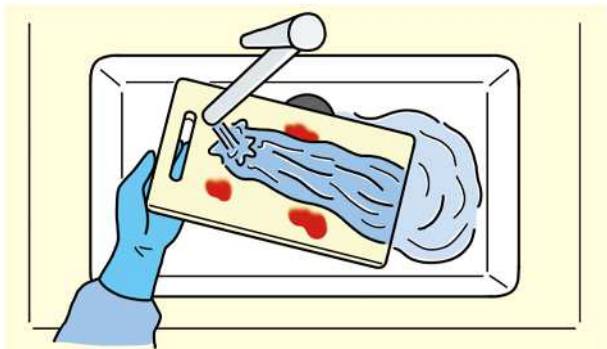
- ・調理台を衛生的な布巾やペーパータオルを使って拭きます。



- ◆調理台は拭き残しの無いように拭くこと
- \*流し台の中は作業が終わってから拭くこと

2 まな板をスポンジで水洗いする。

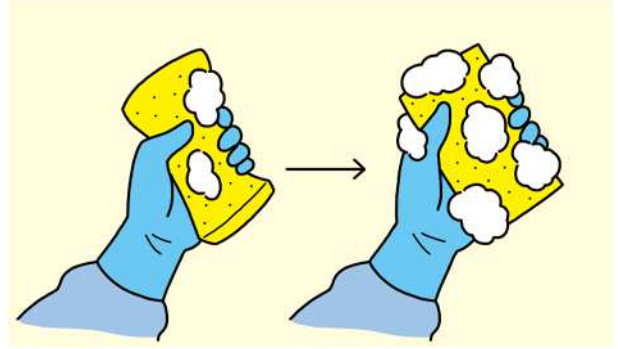
- ・水でまな板の汚れを流します。
- ・スポンジに水を含ませます。
- ・まな板に水を流しながら、スポンジを使って洗います。



- ◆手で直接こすらないこと

3 スポンジに洗剤を付けて泡立て、まな板を洗う。

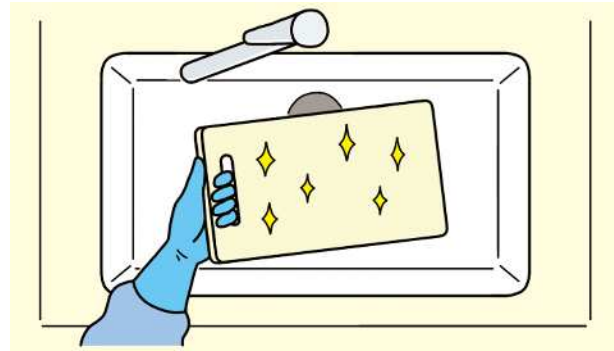
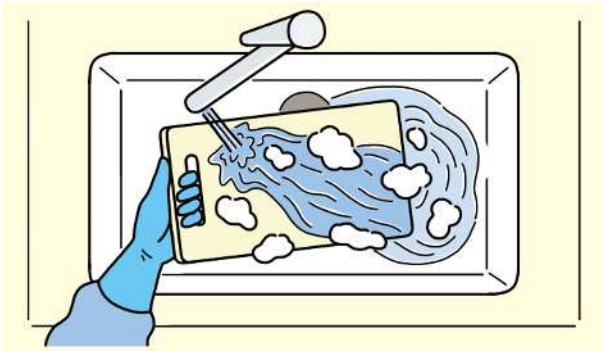
- ・ スポンジに水を含ませて、少量の洗剤液を付けます。
- ・ スポンジをよく泡立て、まな板を洗います。



- ◆ 洗剤液はスポンジに付けること
- ◆ スポンジでよく泡立ててからこすり洗いすること

4 流水で洗剤の泡を洗い流す。

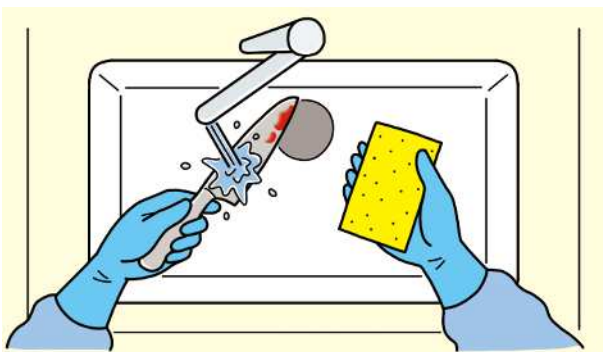
- ・ まな板の泡を残さず洗います。



◆<sup>て</sup>手でこすって<sup>あわ</sup>泡を<sup>あら</sup>洗い<sup>なが</sup>流さないこと

5 <sup>ほうちよう</sup>包丁を<sup>すぼんじ</sup>スポンジで<sup>みず</sup>水洗いする。

- ・<sup>みず</sup>水で<sup>ほうちよう</sup>包丁の<sup>よご</sup>汚れを<sup>なが</sup>流します。
- ・<sup>すぼんじ</sup>スポンジに<sup>みず</sup>水を<sup>ふく</sup>含ませます。
- ・<sup>ほうちよう</sup>包丁に<sup>みず</sup>水を<sup>なが</sup>流しながら、<sup>すぼんじ</sup>スポンジを<sup>つか</sup>使って<sup>あら</sup>洗います。



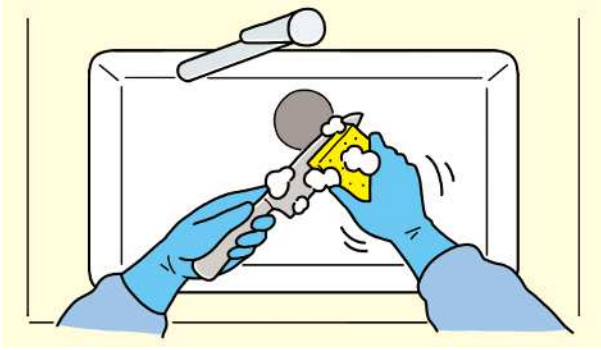
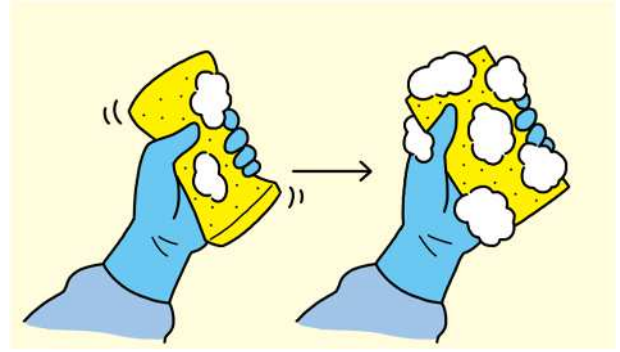
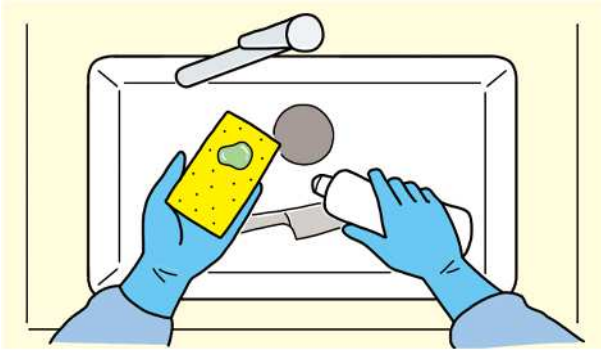
◆<sup>て</sup>手で<sup>ちよくせつ</sup>直接こすらないこと

◆<sup>ほうちよう</sup>包丁の<sup>は</sup>刃は<sup>あんぜん</sup>安全に<sup>あつか</sup>扱うこと

6 <sup>すぼんじ</sup>スポンジに<sup>せんざい</sup>洗剤を<sup>つ</sup>付けて<sup>あわだ</sup>泡立で、<sup>ほうちよう</sup>包丁を<sup>あら</sup>洗う。

- ・<sup>すぼんじ</sup>スポンジに<sup>みず</sup>水を<sup>ふく</sup>含ませて、<sup>しょうりよう</sup>少量の<sup>せんざいえき</sup>洗剤液を<sup>つ</sup>付けます。
- ・<sup>すぼんじ</sup>スポンジをよく<sup>あわだ</sup>泡立で<sup>ほうちよう</sup>包丁を<sup>あら</sup>洗います。

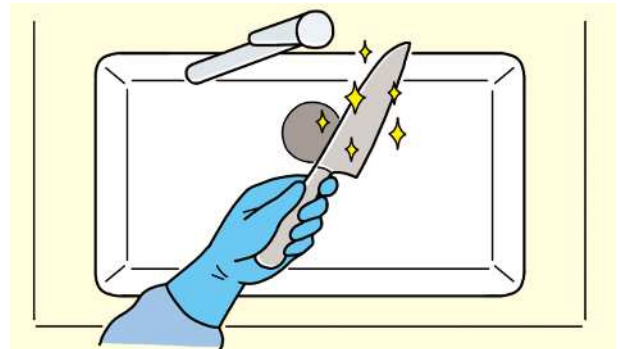
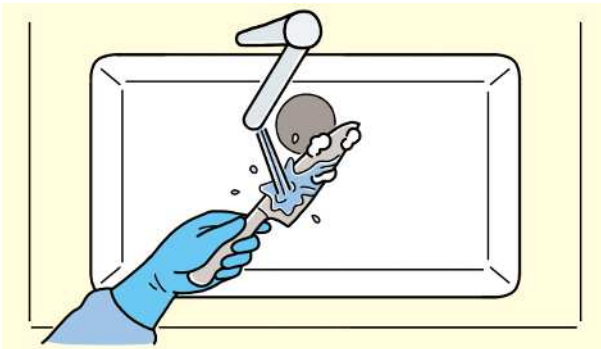




- ◆ <sup>せんざいえき</sup> 洗剤液は <sup>ほうちよう</sup> 包丁に <sup>ちよくせつ</sup> 直接かけないこと
- ◆ <sup>え</sup> 柄 (手で持つ部分) も <sup>ぶぶん</sup> 洗い <sup>あら</sup> 忘れ <sup>わす</sup> ないこと
- ◆ <sup>ほうちよう</sup> 包丁の <sup>ば</sup> 刃は <sup>あんぜん</sup> 安全に <sup>あつか</sup> 扱うこと

7 <sup>りゅうすい</sup> 流水で <sup>せんざい</sup> 洗剤の <sup>あわ</sup> 泡を <sup>あら</sup> 洗い <sup>なが</sup> 流す。

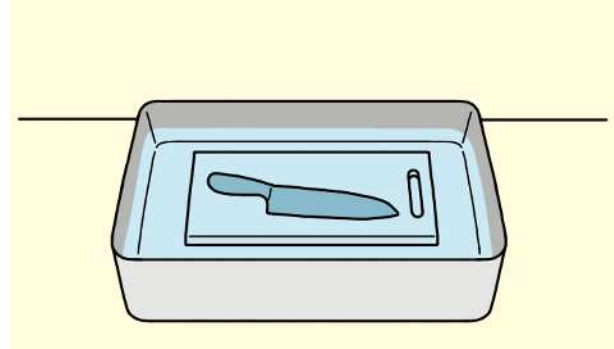
- ・ <sup>ほうちよう</sup> 包丁の <sup>あわ</sup> 泡を <sup>のこ</sup> 残さず <sup>りゅうすい</sup> 流水で <sup>あら</sup> 洗います。



- ◆ <sup>て</sup> 手で <sup>あわ</sup> こすって <sup>あら</sup> 泡を <sup>なが</sup> 洗い流さないこと

8 洗った器具を殺菌液に一定時間（約1分）浸す。

- ・ 洗い終わった器具（まな板・包丁）を殺菌液槽に浸けます。
- ・ タイマーをかけて1分間殺菌します。



◆ 包丁とまな板は殺菌液からはみ出さないこと

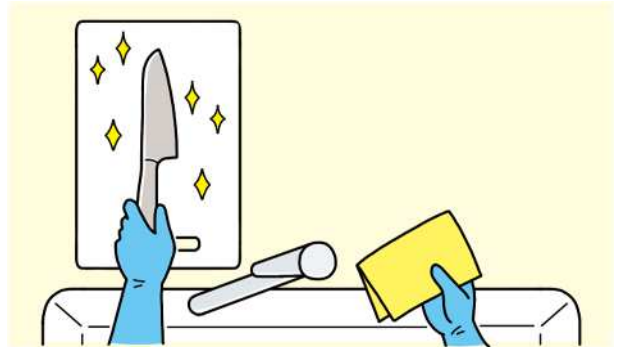
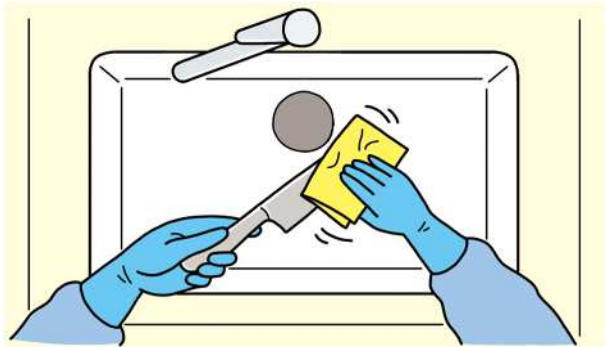
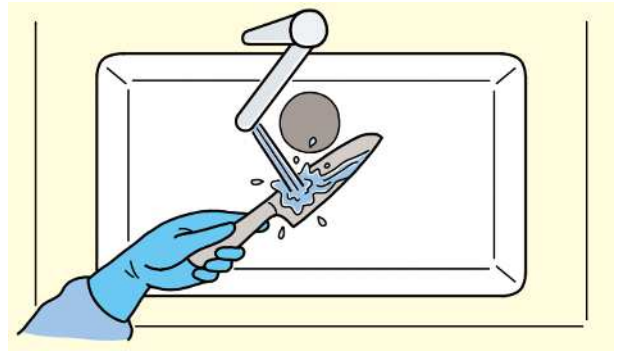
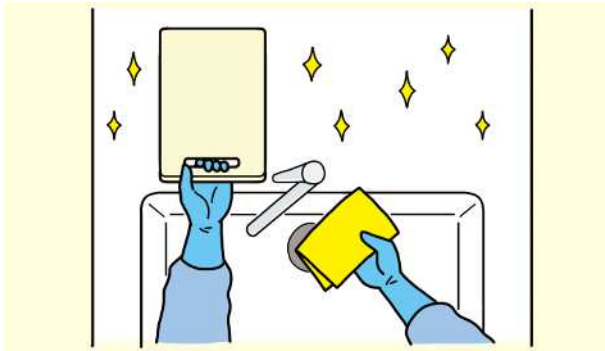
◆ 浸ける時間は一定時間より短くならないこと

※ 工場では消毒液の種類や濃度により浸ける時間が変わります。

9 流水で殺菌液を洗い流し、水気を拭き取る。

- ・ 殺菌液から取り出した器具を流水で洗います。
- ・ 布巾やペーパータオルで水気を拭き取ります。
- ・ 拭き終わった器具は衛生的な場所に置きます。





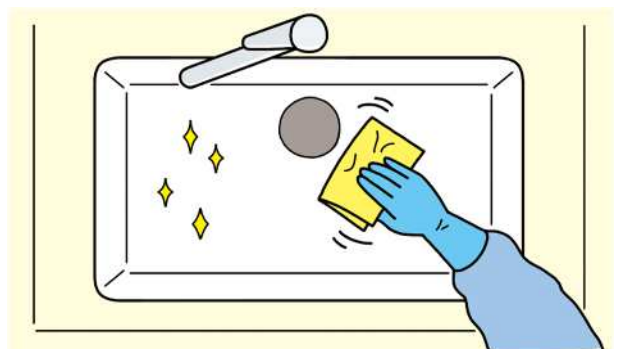
◆<sup>さっきんえき</sup>殺菌液を<sup>なが</sup>流し<sup>わす</sup>れないこと

◆<sup>みずけ</sup>水気を<sup>のこ</sup>残さないこと

10 <sup>なが</sup>流し（<sup>しんく</sup>シンク）の<sup>あわ</sup>泡を<sup>あら</sup>洗い<sup>なが</sup>流し、<sup>まわ</sup>周りの<sup>みずけ</sup>水気を<sup>ふ</sup>拭きとる。

・<sup>なが</sup>流し（<sup>しんく</sup>シンク）に<sup>のこ</sup>残った<sup>あわ</sup>泡を<sup>あら</sup>洗い<sup>なが</sup>流します。

・<sup>ふきん</sup>布巾や<sup>ペーパータオル</sup>ペーパータオルを使って<sup>なが</sup>流し（<sup>しんく</sup>シンク）の<sup>まわ</sup>周りの<sup>みずけ</sup>水気を<sup>ふ</sup>拭きとります。



◆<sup>あわ</sup>泡を<sup>なが</sup>流し<sup>わす</sup>れないこと。

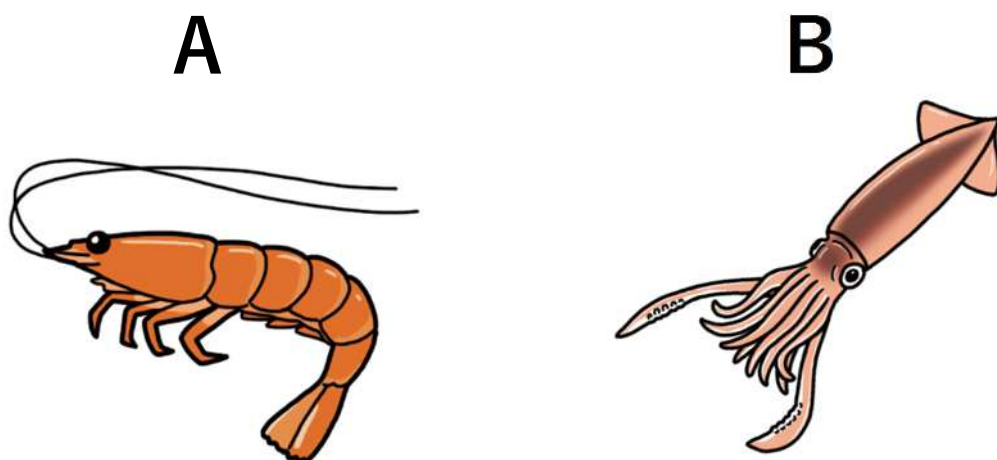
◆<sup>なが</sup>流し（<sup>しんく</sup>シンク）の<sup>まわ</sup>周りの<sup>みずけ</sup>水気を<sup>のこ</sup>残さないこと。

もんだい げんりょうぎょかいるい せんてい  
**問題Ⅲ. 原料魚介類の選定**

10種類 A ~ J の原料魚介類の名前を番号 ① ~ ⑩ から選び解答する

れいだい ちゅう れいだい しゅるい しけん しゅるい  
**【例題】 注) 例題は2種類ですが試験は10種類です。**

げんりょうぎょかいるい なまえ えら ぬ  
 原料魚介類A~Bの名前を①~②から選び塗りつぶしなさい。



① え び                      ② い か

もんだい 問題Ⅲ										
A	<input checked="" type="radio"/>	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
B	①	<input checked="" type="radio"/>	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

もんだい ほうちょう げんりょうぎょかいるい  
**問題IV. 包丁と原料魚介類のマッチング**

4種類 (A~D) の包丁がどの原料 (①~④) に使用するか番号を選び解答する

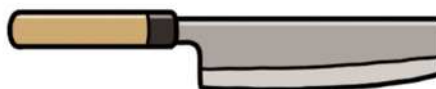
れいだい ちゅう れいだい しゅるい しけん しゅるい  
**【例題】 注) 例題は2種類ですが試験は4種類です。**

ほうちょう つか げんりょう えらぬ  
 包丁A~Bを使う原料を①~④から選び塗りつぶしなさい。

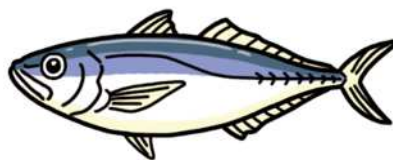
**A**



**B**



①



②

もんだい 問題IV				
A	①	③	④	
B	②	③	④	

もんだい げんりょうぎょ せんど ひんしつはんてい  
**問題V. 原料魚の鮮度・品質判定**

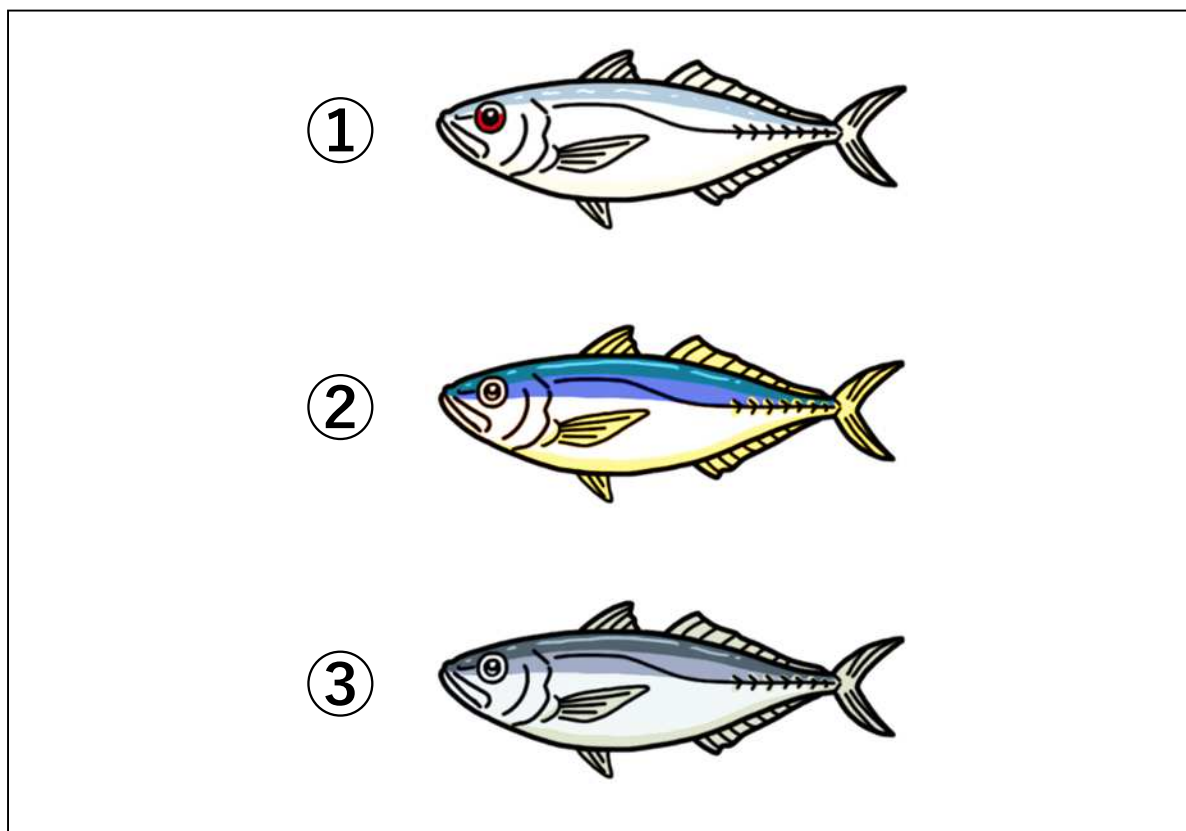
しゅるい ぎょしゅ (A~C) それぞれ せんど ひんしつ こと 異なる 3枚の 写真から 良い、または 悪い物  
ばんごう えら かいどう  
の番号を選び解答する。

ぎょしゅしゅつだい  
(3魚種出題)

れいだい ちゅう れいだい ぎょしゅ しけん  
**【例題】 注) 例題は1魚種ですが試験は3魚種です。**

つぎ しゅるい さかな について、せんど ひんしつ もっと わる もの えら ぬ  
次の種類の魚について、鮮度・品質の最も悪い物を選び塗りつぶしなさい。

# A



もんだい げんりょうかいとう  
**問題VI. 原料解凍**

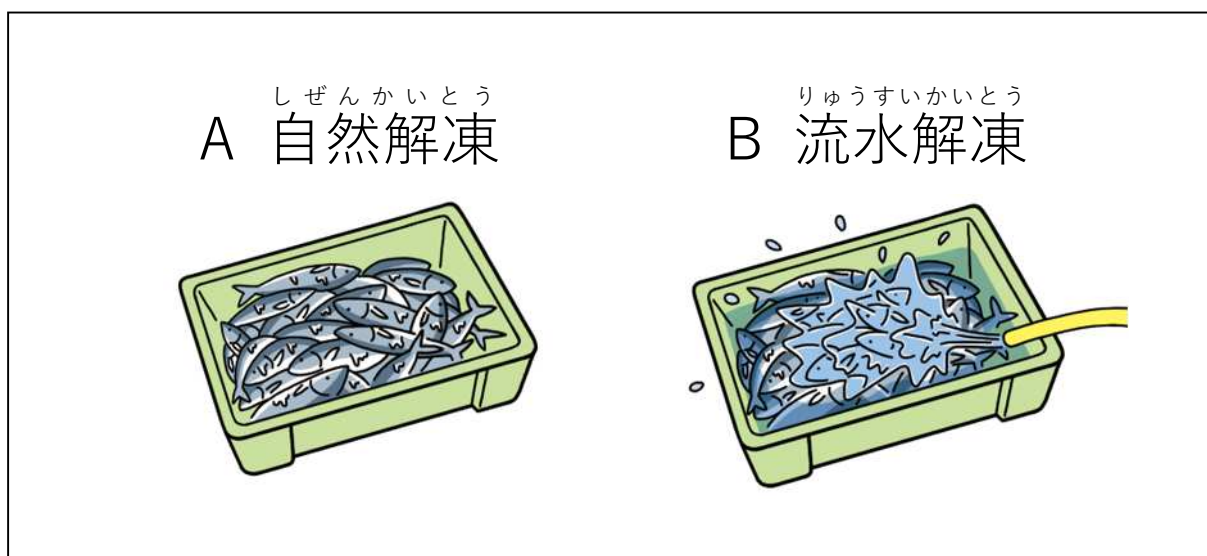
4種類 (A~D) の解凍方法を解凍時間の早い順に①~④を選び解答する。

※ ①1番早い ②2番目に早い ③3番目に早い ④1番遅い

(解凍4方法出題)

【例題】 注) 例題は2方法ですが試験は4方法です。

次の解凍方法のうち、解凍時間が早い順に①、②の番号を塗りつぶしなさい。



もんだい  
**問題VI**

A	①	③	④
B	②	③	④

もんだい あんぜんかんり  
**問題Ⅶ. 安全管理**

3つの事故（A～C）が起きる場所を絵の中の番号①～⑤から選び解答する。  
 （3つの事故出題）

【例題】 注）例題は事故2種類ですが試験は事故3種類です。

次の事故が起きるのはどの場所か、下の絵の①～③から選び塗りつぶしなさい。

A 落ちる（落下）

B 滑る（転倒）



もんだい 問題Ⅶ					
A	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
B	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



2. 専門問題 ☆ 作業別に問題が異なります

問題Ⅷ-1. 製造工程表の作成

製造工程表の虫食い部分A~Cに該当する工程(あ)~(う)を選び、記入し解答する。

【例題】 注) 例題は2工程ですが試験は3工程です。

塩サバフィレの工程表のA~Bに当てはまる工程を下の(あ)~(い)から選びなさい。

- (あ) 異物検査 (い) 三枚卸し

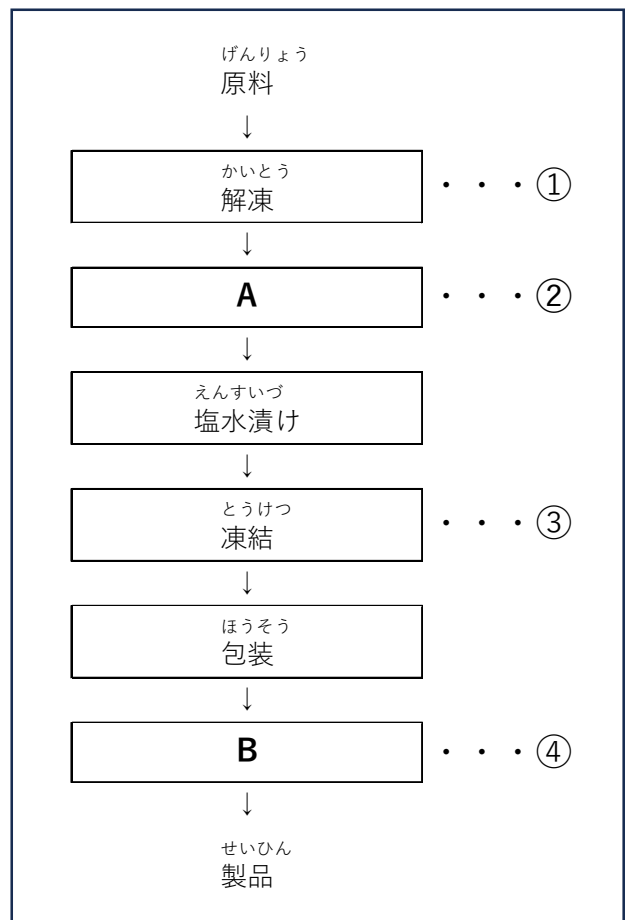
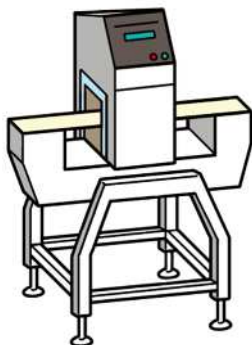
問題Ⅷ-2. 機器の用途確認

機器の写真を見て、製造工程表のどこで使うか工程番号①~④から選び解答する。  
(機械2種出題)

【例題】 注) 例題は1機器ですが  
試験は2機器です。

下の機械は工程表のどの工程で使うか  
①~④から選び塗りつぶしなさい。

a 金属探知機



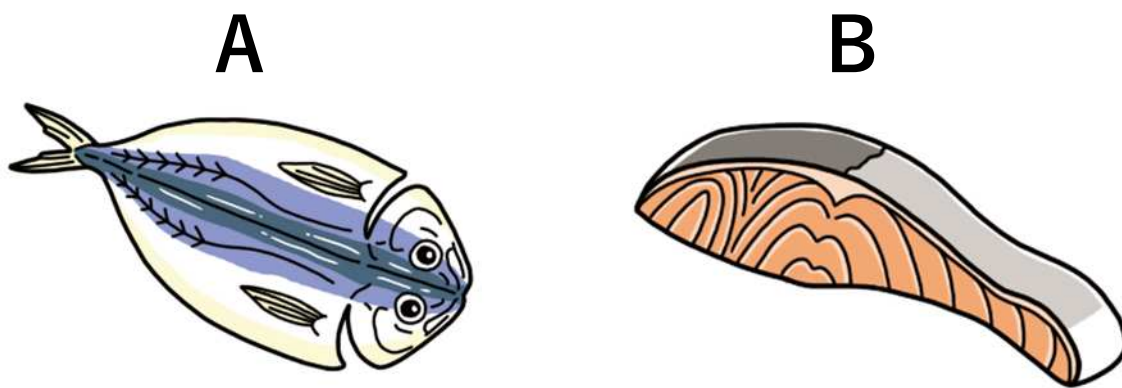
もんだい 問題Ⅶ			
1	A	(あ) ● (う)	
	B	● (い) (う)	
2	a	(1) (2) (3)	● (4)

もんだい せいひん はんべつ  
**問題IX. 製品の判別**

しゅるい (A~E) の せいひん なまえ ばんごう (①~⑤) を えら かいとう 解答する

れいだい ちゅう れいだい しゅるい しけん しゅるい  
**【例題】 注) 例題は2種類ですが試験は5種類です。**

せいひん なまえ を ① ~ ② から えら ぬ 塗りつぶしなさい。



① しお 塩さけ

② あじ ほん 開き干し

もんだい 問題IX					
A	①	②	③	④	⑤
B	①	②	③	④	⑤

もんだい さぎょう せつめい  
**問題X. 作業の説明**

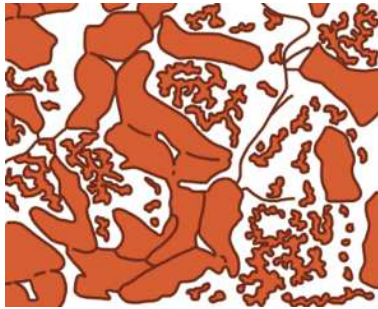
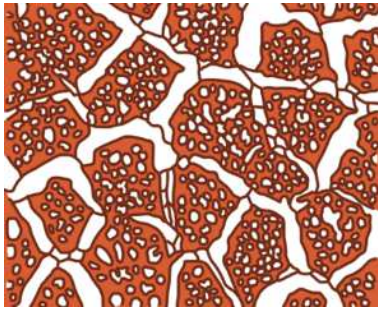
さぎょう せつめい ただ ばんごう えら かいとう  
作業の説明について、正しい番号①・②から選び解答する。

だいしゅつだい  
(2題出題)

れいだい  
**【例題】**

つぎ ぶんしょう ●● かこうひん せいぞう かん せつめい ぶんしょうちゅう あ  
次の文章は、●●加工品の製造に関する説明です。文章中にある( )に当てはまる  
ものを、それぞれ①・②から選び塗りつぶしなさい。

もんだい さかな かんまんとうけつ ぎょにくそしきない ひょうけっしょう  
問題 魚を緩慢凍結すると、魚肉組織内に( )氷結晶ができ、  
ひんしつ ていか  
品質が低下しやすくなる。

① おお 大きな	② ちい 小さな
	



# 【製作等作業試験（実作業テスト）】

## せんもんもんだい 専門問題

はいふ し じぶんしょ み じけんじかんない し じ さぎょう  
配布された指示文書を見ながら、試験時間内に指示どおり作業します

※ さぎょうかいしご しつもん う つ しつもん かいしまえ  
作業開始後は質問を受け付けませんので質問があれば開始前までにしてください

### 1. しけんじかん 試験時間

ひょうじゆんじかん ふん う き じかん ふん  
標準時間 25分 打ち切り時間 30分

**\* 打ち切り時間を過ぎた場合は試験途中でも終了とする**

**\* タイマーを設置するので時間を確認しながら作業すること**

- ・ ふん かうんとだうんけいしき はじ  
30分からカウントダウン形式で始める
- ・ かだい かだい あいだ さいてんじかん たいまー ていし  
課題と課題の間の採点時間はタイマーを停止する
- ・ じゅけんしゃ たいまー さわ  
受検者はタイマーに触らない

### 2. ちゆういじこう 注意事項

- ① じぜん かくにん きかい きぐ ざいりょういがい つか  
事前に確認した機械・器具、材料以外は使えない
- ② しけん あいず はじ  
試験は合図があったら始める
- ③ かだい お い  
課題が終わったら「できました」と言う
- ④ しゅうりょう あいず しけん し じ したが  
終了の合図があったら試験をやめて指示に従う
- ⑤ ふせいこうい きんし  
不正行為は禁止する  
(カンニング、私語、問題や解答の書き写し・持ち出し等)
- ⑥ けいたいでんわなど しやう きんし さつえい ろくおんなど  
携帯電話等の使用を禁止する（撮影・録音等）
- ⑦ し じぶんしょ しけんしゅうりょうご かいしゅう  
指示文書は試験終了後に回収する

### 3. 受検準備

\* 1 : 上級試験では製作等作業試験の中で作業の安全・衛生管理の試験を行わない

- ・ 事前に作業に適した服装に着替え、手洗いやローラー掛けも済ませて衛生的な状態にしておく

\* 2 : 上級試験では製作等作業試験の中で器具の衛生管理の試験を行わない

- ・ 器具等は衛生的な状態で持ち込むか、事前に洗浄をしておく
- ・ また、調理台も事前に衛生的な濡れ布巾等で拭いて衛生的な状態にしておく

\* 3 : 上級試験では製作等作業試験の中で原料解凍の試験を行わない

- ・ 持ち込む原料魚介類は完全凍結した状態で持ち込み、作業試験まで管理官もしくは試験官に指定された場所で保管する
- ・ 作業試験前または作業試験中に解凍作業を行う時間を作るので処理しやすい半解凍または全解凍の状態まで解凍する

※解凍時間は試験時間に含めない（タイマーを止めた状態で行う）

\* 4 : 塩分計（塩分濃度計）を使用する作業の方は、試験前までに計測器の0調整を済ませておく

「塩分計別の0調整方法」は35ページ以降の参考資料を確認しておく

また、実際の塩分計測方法は「専門級実技試験問題」の参考資料を確認しておく

えんぞうひんせいぞうさぎょう  
**塩蔵品製造作業**

● えんぞう れい  
**塩蔵さば (例)**

ひつようきぐ 必要器具	すうりょう 数量	びこう 備考
はかり	1	1g単位ではかれるもの (デジタル推奨)
皿	2	計量で使用 (紙皿推奨)
計量カップ	1	1ℓ はかれるもの (透明で目盛りが見えるもの)
計量カップ	1	調整用の小さいもの (コップ等で代用可)
ペットボトル	1	2ℓ 入る大きさのもの
ボウル	1	2ℓ 以上入る大きさのもの (洗面器等で代用可)
スプーン	1	塩の計量、攪拌で使用
包丁	1	使い慣れたもの
まな板	1	
バット	1	ふり塩漬けで使用
えんぶんのうどけい 塩分濃度計	1	10%測定できるもの (屈折計、ボーメ計、デジタル計 等) * ボーメ計を使用する場合は測定用の容器を持参すること
ゴミ袋	1	生ゴミ用
食器用洗剤	1	
スポンジ	1	
食器用ふきん	1	台ふきんと区別できること (ペーパータオルで代用可)
台ふきん	1	食器用ふきんと区別できること (ペーパータオルで代用可)

ひつようざいりょう 必要材料	すうりょう 数量	びこう 備考
げんりょうぎよ 原料魚	3尾	半解凍した原料魚 (29 ページ * 3 参照)
しょくえん せいせいえん 食塩 (精製塩)	220 g	減塩タイプ、岩塩、粗塩は使用しないこと



しけんまえ ちょうりだい じゅんび  
試験前の調理台の準備

かだい 1. 食塩水の調製

してい ざいりょう きぐ つか しよくえんすい ちょうせい  
指定された材料と器具を使い、食塩水を調製する

しじないよう  
【指示内容】

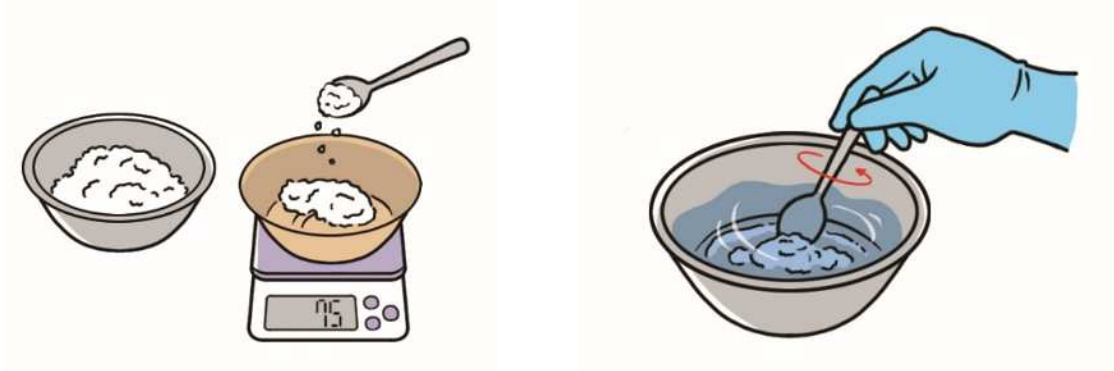
- ① みず ●●●ml (●ℓ) ていど つか ぼうる なか えんぶんのうど ●% しよくえんすい  
作りなさい
- ② つく しよくえんすい  
作った食塩水を●●●mlはかりなさい

てじゅん れい  
【手順】 (例)

- (1) べつとぼとる みず けいりょうかっぱ ぼうる い  
ペットボトルの水を計量カップではかり、ボウルに入れる



(2) 塩の量を計算し、はかりで計量してボウルの中に入れ、塩が溶けるまで混ぜる



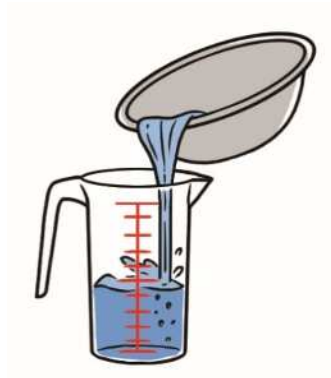
(3) 塩分濃度計を使って食塩水の濃度ををはかる

※「専門級実技試験問題」参考資料 塩分計別の測定方法を確認のこと

(4) 指示された塩分濃度になるように、水または塩を足して調製する

◆使用できる材料の上限が決まっているので使う量に気を付けること

(5) 指示された塩分濃度になったら指定された量をはかる



(6) 試験官に終了の報告をする





かだい げんりょうしより えんぞうしより  
課題2. 原料処理、塩蔵処理

してい ざいりょう きぐ つか げんりょう しより えんぞうしより  
指定された材料と器具を使い、原料を処理し、塩蔵処理する

かだい はじ まえ じさん れいとうぎょ はんかいとう しけんじかん ふく  
\*課題2を始める前に持参した冷凍魚を半解凍にする（試験時間には含まない）

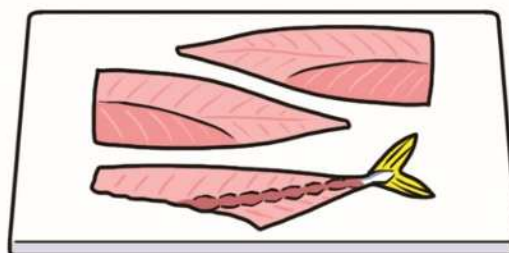
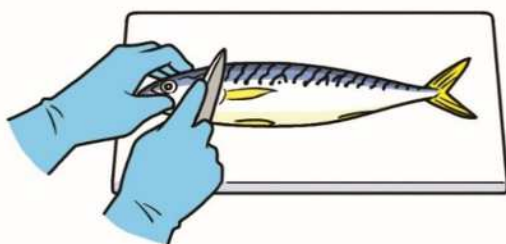
し じ ないよう  
【指示内容】

- ① げんりょうぎょ び さんまいおろ ぶ い れ まいつく  
原料魚3尾を三枚卸しにして、フィレを6枚作りなさい
- ② かだい さくせい しょくえんすい つか まい ぶ い れ しおづ  
課題1で作成した食塩水を使い、●枚のフィレをたて塩漬けしなさい
- ③ まい ぶ い れ ぱっと うえ ふ しおづ  
●枚のフィレをバットの上で振り塩漬けしなさい

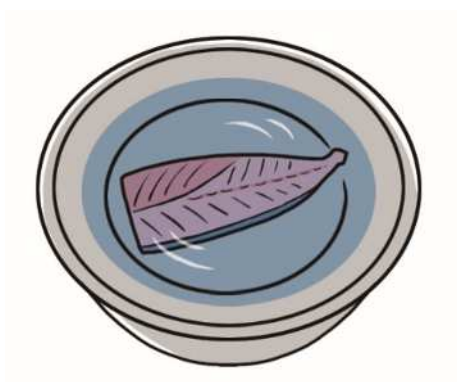
てじゆん れい  
【手順】（例）

- (1) はんかいとう げんりょうぎょ び さんまいおろ ぶ い れ まいつく  
半解凍にした原料魚3尾を三枚卸しにしてフィレを6枚作る

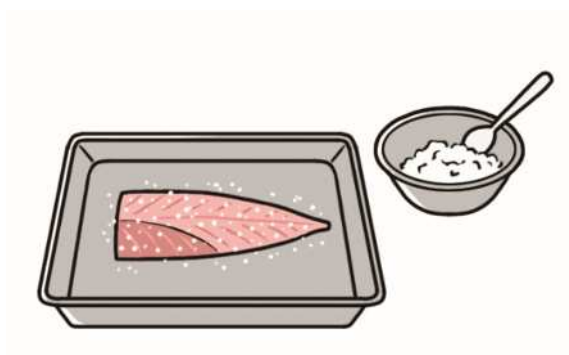
しより げんりょうぎょ りゅうすい すいどうすい せんじょう  
\*処理した原料魚は流水（水道水）で洗浄すること



- (2) してい まいすう ぶ い れ かだい ちょうせい しょくえんすい つ こ しおづ  
指定された枚数のフィレを課題1で調製した食塩水に漬け込む（たて塩漬け）



- (3) 指定された枚数のフィレをバットの上に置き両面に適量の食塩を均等にまぶす  
(振り塩漬)



- (4) 試験官に終了の報告をする



☆参考資料

えんぶんけいべつ ちょうせつ  
【塩分計別の0調節】

くっせつけい  
1. 屈折計



注) 塩分屈折計には 10% までしか測れないものや、% (パーセント:百分率)ではなく‰(パーミル:千分率)のものもありますまた、糖分を図るBrix計などがありますのでよくご確認ください

ここでは 28% まで測ることができる塩分屈折計で説明しています

この屈折計は食塩水の水温が 20℃基準となっていますが、試験では水温調整が難しいため問いません



蓋板を開けてプリズム面に水道水を1~2滴ほど滴下して蓋板を閉じます



滴下する前はこの色です



滴下後はこの色になっていることを確認しましょう



明るい方向を向いて接眼鏡を覗きます



見えにくい時は焦点を調整します



マイナスドライバー等を使い調節して青と白の境界線を0目盛に合わせます

## 2. ボーメ比重計 (浮ひょう) 上縁視程確認



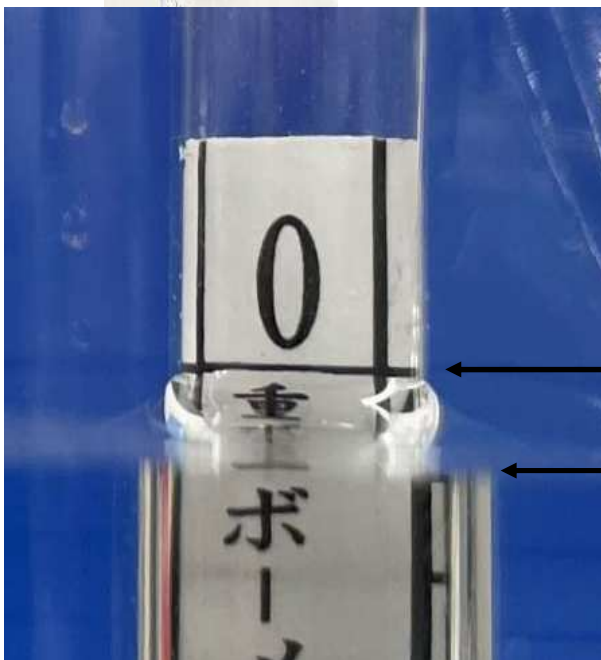
注) ボーメ比重計には重ボーメ度と軽ボーメ度があり、水より重い食塩水は重ボーメ度で計測します

通常のボーメ比重計は上縁視定となっています。また、ボーメ比重計は食塩水の水温が15℃基準となっていますが、試験では水温調整が難しいため問いません

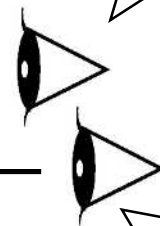
また、ボーメ比重計は食塩水の水温が15℃基準となっていますが、試験では水温調整が難しいため問いません



透明な筒状の入れ物(メスシリンダーなど)に水道水をボーメ比重計が浮く程度に注ぎ、ボーメ比重計を浮かべます



通常のボーメ比重計は上縁視定ですのでこの線を読み取ります。上縁が0の目盛になっていることを確認します



上縁視程のため水平面は1.0Bhになっています

### 3. デジタル塩分計 (屈折計)

・滴下タイプ



サンプルステージ

注) デジタル塩分計には味噌汁スープ用などの5%程度までしか測定できない物や10%限界の物、糖度計などがあります。当試験では10%以上測定できるものをご確認の上、受検してください。

左の濃度計画像は食塩水計測用ですが、

下の使用方法の濃度計はBrixタイプのため使い方のみに参考にご覧ください。



01 サンプルステージのメタル部分(銀色部分)が埋まるくらいに水道水を滴下します

02 スタートボタンを押します

03 数値が表示されるので0.0%になっていることを確認しましょう

・ペンタイプ



先端のセンサー部分を水道水に浸けます

水道水に浸けたままスタートボタンを押します

数値が表示されるので0.0%になっていることを確認しましょう